

年間指導計画表

教科・科目	保健体育・体育	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科 普通・国際コミュニケーションコース 第3学年 男子

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書・副教材等	本校体育実技記録ノート 競技ルールのプリント 参考資料 保健体育教科書(体育分野)

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	観察	10%
b. 思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指した、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	実技ノート 観察	10%
c. 技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	実技テスト	70%
d. 知識・理解	選択して運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的な特性や現代スポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	実技ノート レポート	10%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	18	体育理論	「生涯スポーツの見方・考え方」「スポーツライフスタイル」について学習する。	○	○		○
			体づくり運動	トレーニングについて正しく理解し、基礎的な体力を向上させる。	○	○	○	○
			選択種目 ソフトボール	「打つ」「捕る」「投げる」「走る」という基本動作を複雑に行うことで、巧緻性・敏捷性・筋力・瞬発力を高める。集団としての連帯感や協力して取り組む姿勢を育てる。	○	○	○	○
			選択種目 サッカー	広い範囲を走りまわりながらパスやシュートを行うことで、全身持久力・瞬発力・筋力などを高める。集団としての連帯感や協力して取り組む姿勢を育てる。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	20	ダンス(民踊)(男女)	教材種目として体育祭で発表する。	○	○	○	○
			選択種目 サッカー	広い範囲を走り回りながらパスやシュートを行うことで、全身持久力・瞬発力・筋力などを高める。集団としての連帯感や協力して取り組む姿勢を育てる。	○	○	○	○
			選択種目 ソフトボール	「打つ」「捕る」「投げる」「走る」という基本動作を複雑に行うことで、巧緻性・敏捷性・筋力・瞬発力を高める。集団としての連帯感や協力して取り組む姿勢を育てる。	○	○	○	○
			体育理論	「日本のスポーツ振興」「スポーツと環境」について学習する。	○	○		○
後期	10 11 12	20	選択種目 サッカー	広い範囲を走り回りながらパスやシュートを行うことで、全身持久力・瞬発力・筋力などを高める。集団としての連帯感や協力して取り組む姿勢を育てる。	○	○	○	○
			選択種目 ソフトボール	「打つ」「捕る」「投げる」「走る」という基本動作を複雑に行うことで、巧緻性・敏捷性・筋力・瞬発力を高める。集団としての連帯感や協力して取り組む姿勢を育てる。	○	○	○	○
			体づくり運動	トレーニングについて正しく理解し、基礎的な体力を向上させる。	○	○	○	○
			テニス	ゲームの中でボール操作やパートナーとの連携などの能力を高めて、勝敗を競う楽しさを味わうことができる。	○	○	○	○
後期	1 2 3	12	テニス	ゲームの中でボール操作やパートナーとの連携などの能力を高めて、勝敗を競う楽しさを味わうことができる。	○	○	○	○
			選択(1)器械運動(男女)	受験に必要な種目を選択して学習する。	○	○	○	○
			(2)陸上競技(男女)					
			(3)球技(男女)					
			(4)武道(男女)					
(5)ダンス(男女)								
【年間の学習状況の評価方法】 1. 授業への取り組み＝生徒各個人の態度や取り組む姿勢を観察する。 2. 学習ノート・プリント＝実技ノートへの記録の整理やプリントを用いた学習に取り組ませる。 3. テスト＝スキルテストや小テストなどを各単元(種目)で実施する。								

年間指導計画表

教科・科目	保健体育・体育	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科 普通・国際コミュニケーションコース 第3学年 女子

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書・副教材等	本校体育実技記録ノート 競技ルールのプリント 参考資料 保健体育教科書(体育分野)

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	観察	10%
b. 思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指した、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	実技ノート 観察	10%
c. 技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	実技テスト	70%
d. 知識・理解	選択して運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的な特性や現代スポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	実技ノート レポート	10%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	18	体育理論	「生涯スポーツの見方・考え方」「スポーツライフスタイル」について学習する。	○	○		○
			体づくり運動	トレーニングについて正しく理解し、基礎的な体力を向上させる。	○	○	○	○
			選択種目 テニス バドミントン	状況に応じたボールやシャトルの操作、パートナーとの連携を高めるなど、ゲームを展開するなかで勝敗を競う楽しさを味わうことができる。	○	○	○	○
					○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	20	ダンス(民踊)(男女)	教材種目として体育祭で発表する。	○	○	○	○
			選択種目 テニス バドミントン	状況に応じたボールやシャトルの操作、パートナーとの連携を高めるなど、ゲームを展開するなかで勝敗を競う楽しさを味わうことができる。	○	○	○	○
			体育理論	「日本のスポーツ振興」「スポーツと環境」について学習する。	○	○		○
後期	10 11 12	20	選択種目 テニス バドミントン	状況に応じたボールやシャトルの操作、パートナーとの連携を高めるなど、ゲームを展開するなかで勝敗を競う楽しさを味わうことができる。	○	○	○	○
			体づくり運動	トレーニングについて正しく理解し、基礎的な体力を向上させる。	○	○	○	○
			ソフトバレーボール	柔らかいボールを使い、ゲームを中心に行う。	○	○	○	○
	1 2 3	12	ソフトバレーボール	柔らかいボールを使い、ゲームを中心に行う。	○	○	○	○
			選択(1)器械運動(男女) (2)陸上競技(男女) (3)球技(男女) (4)武道(男女) (5)ダンス(男女)	受験に必要な種目を選択して学習する。	○	○	○	○
【年間の学習状況の評価方法】 1. 授業への取り組み＝生徒各個人の態度や取り組む姿勢を観察する。 2. 学習ノート・プリント＝実技ノートへの記録の整理やプリントを用いた学習に取り組ませる。 3. テスト＝スキルテストや小テストなどを各単元(種目)で実施する。								